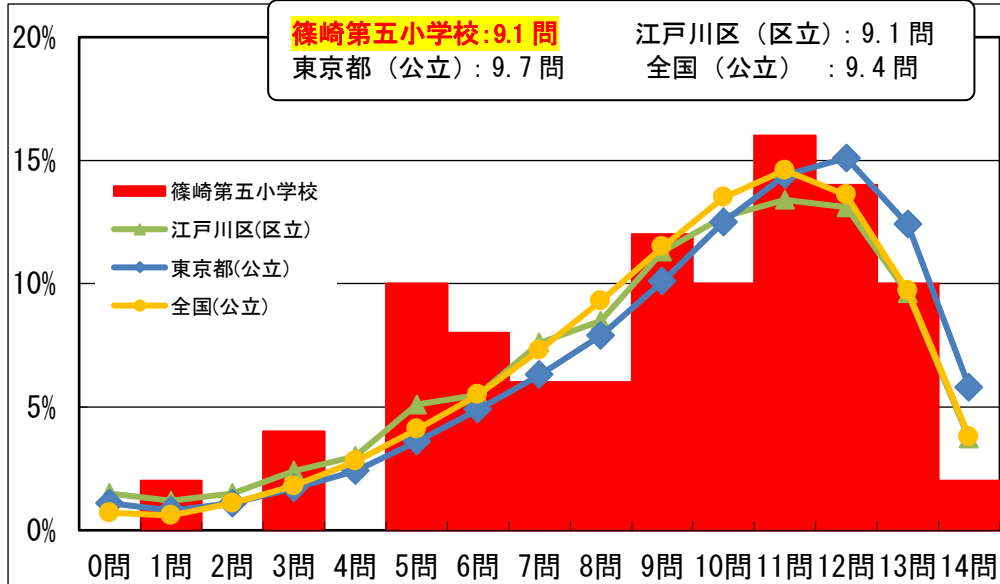


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 篠崎第五小学校

## 正答数分布

平均正答数



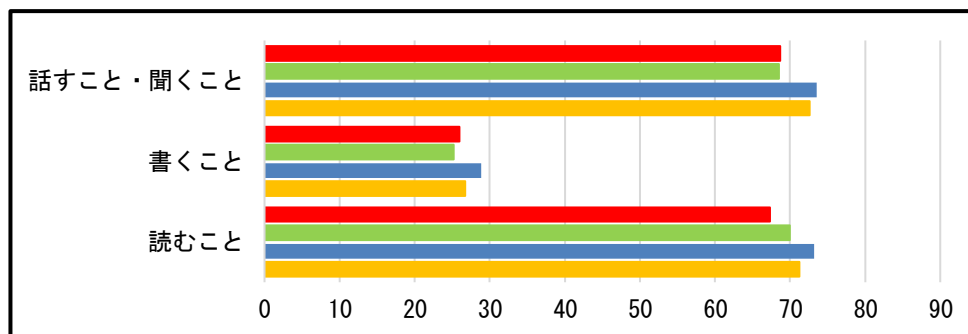
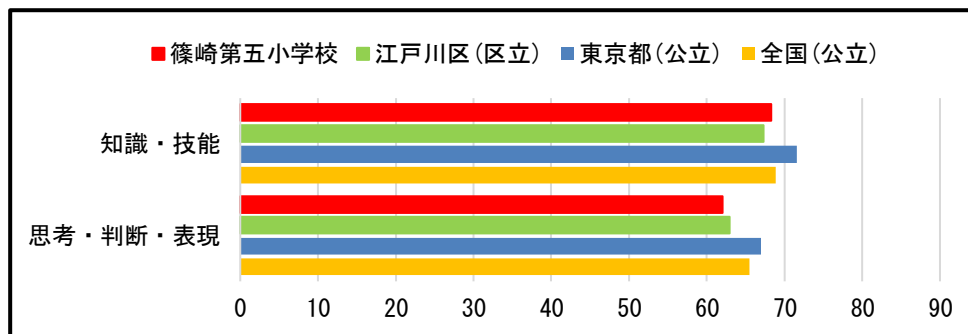
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
篠崎第五小学校	26	26	18	30
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

篠崎第五小学校	65%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	4ポイント

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

- 全体では、全国から2.2ポイント下回っている。「知識及び技能」では全国平均に近いが、「思考・判断・表現」では全国平均を下回った。言葉の特徴や使い方の基礎基本を固め、思考力・判断力・表現力を伸ばしていきたい。
- 「文章を正しく読む力」を向上させるため、様々な教科で文章中の大切な言葉を見付けたり、読書の習慣を定着させたりしていく。「考えを表現する力」については、新聞のコラムや詩などを活用し、手本となる文章に触れる機会を設けたり、友達との交流の中で豊かな表現方法を身に付けさせたりしていく。